

サポート・ブック

・このサポート・ブックは さんと
その支援者（担任の先生、学習補助や介助、預かり保育の先生など）の双方をサポートするために作成されました。

・本人にとって分かり易く伝わり易い接し方や、対応のテクニックのコツが分かると、支援者も楽になります。

・家庭での経験や、客観的資料に基づいて作成されたものですが、実際の状況に合わせて、適宜ご判断、ご活用頂けますよう、お願い申し上げます。

・個人情報の取り扱いには十分ご配慮下さい。

作成日： 年 月 日

記入者：

プロフィール

名前：

生年月日： 年 月 日生（ 型）

家族：

住所：

連絡先（関係・場所・連絡可能な時間帯等）：

●かかりつけ医院（名称・所在地・受診状況など）

●相談先・支援機関（名称・所在地・支援状況など）

発達の特性（特別な個性）

診断名： (診断ある・なし)

医療機関： (年 月)

投薬：ある・なし (薬名)

発達・知能検査： 実施した・予定・していない

※検査結果・意見書等あれば資料としてコピーを添付、または「検査結果のまとめ」カードをご活用下さい。

●特性（発達上の特徴）

- 言葉の心配（とても・ややある・なし）
- 知的な心配（とても・ややある・なし）
- 多動性・衝動性・不注意性（とても・ややある・なし）
- 学習の困り（聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する）
- 感覚の過敏性（視覚・聴覚・触覚・味覚・嗅覚・その他）
- 言語理解（視覚優位・聴覚優位・両方または分からない）
- その他発達上の心配など

検査結果のまとめ

検査の種類：

実施機関：

検査日： 年 月 日（年齢 才 ヶ月）

結果：IQ値＝

特に優れた項目：

特に心配な項目：

全体的なバランスや発達の特徴等：

主治医または検査者（臨床心理士等）の意見・助言

（

より）

人間関係map

家族

父・_____

母・_____

本人・_____

理解者

友だち

発達凹凸～体質的な得手・不得手～

●得意なこと（行動・作業）

●苦手なこと（行動・作業）

好き・嫌い

●好きなこと・もの（遊び・趣味・食べ物など）

●嫌がること・もの（場所・音・食べ物など）

●落ち着くこと・もの（場所・遊び・人など）

パニック・問題行動の記録

いつ： 年 月（ 年生の頃）

前の状況や要因：

本人の行動：

その時の対応：

いつ： 年 月（ 年生の頃）

前の状況や要因：

本人の行動：

その時の対応：

サポートの必要レベル

●生活面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる
現在の課題とできていること：

●学習面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる
現在の課題とできていること：

●社会面のサポート

常に介助・時々手助け・少しのヒント・見守り・自分でできる
現在の課題とできていること：

サポート・テクニック集

- ・本人の困りに対する対応方法のコツ・参考アイデア集です。
- ・家庭での実際の対応や、各種医療・支援機関からの助言、参考書籍・HPなどを元に、本人にとって分かり易く受け入れ易い方法を具体的に挙げていますので、実際の状況に合わせて適宜ご判断・アレンジしてご活用下さい。
- ・学校などにおいては、学級の人数や他のお子様との関係、支援環境などの状況によって、必ずしもこのとおりの対応は難しいこともあると思います。その場合も、本人の困りや保護者の気持ちに寄り添うことがサポートになります。

●記入の際には（保護者のかたへ）

- ・困りに応じて必要枚数カードをプリントし、なるべく具体的に声かけなどの対応の実例をご記入下さい。家庭で実際に使っているツールや工夫があれば、カード裏面に写真などを印刷すると分かり易くなります。
- ・「今現在困っていること」「学校等で特に心配なこと」に絞って書きます。細かな気付きなどは、「よくある困りと対応例」のカードや、参考資料のコピーや抜き書きなどを巻末に添付して、一覧にまとめると良いでしょう。
- ・状況によって、学校等では必ずしもこのとおりの対応が難しい場合もあると思います。その場合も、本人の困りを伝えていくことで理解を深めてもらうことができます。

●行動（つまずき）

●本人の困り（つまずきの理由）

●サポート・テクニク

このサポートブックの扱いについて

子どもの発達に合わせて課題が変わるため、必要に応じてカードを追加・修正をする場合、

- 連絡帳に挟んで、担任の先生にその都度追加のカードをお渡し致します。
- 学期・年度の終わりにご返却下さい。新学期に追加・修正してお渡し致します。
- 窓口となる先生（先生）を通じてお渡し致します。
- その他の希望

ご担任・ご担当期間が終わりましたら・・・

- 次の担任・担当者様へ引き継ぎ頂けますようお願いいたします。
- 窓口となる先生（先生）から次の担任・担当者様へお渡し下さるようお願いいたします。
- 一旦保護者へご返却下さい。
- その他の希望

楽々式サポートブックについて

この「楽々式サポートブック」のフォーマットは

<http://www.rakurakumom.com>

の「メニュー」→「idea&tools」→「支援ツールのシェア」より、どなたでも無料ダウンロードできます。

詳しい書き方・渡し方などは同HPをご参照下さい。

他にもオリジナル視覚支援ツールなどを提供しています。発達障害のお子様にとって分かり易く受け入れ易い方法は、他のお子様にとっても分かり易く受け入れ易い方法です。

「楽々式サポートブック」は主に軽度・グレーゾーンに当たる発達障害のお子様を、学校等でサポートすることを想定して制作しております。より詳細な医学的情報の記入や配慮をご希望のお子様には、各自治体・教育委員会などが提供しているサポートブックのご利用をお勧め致します。

発達障害のお子様への対応は、保護者と支援者がお互いにサポートし合うことで、本人のサポートにつながります。困ったこと・心配なことがあれば、その都度課題を共有し、ひとつひとつ具体的に対応していくと、必ず落ち着いていきます。

ただし保護者・支援者が、個人でできる範囲を超えて頑張りすぎると、結果的に子どもの支援ができなくなります。必要に応じて、校内のチーム援助や外部の協力機関、相談先等、サポートする側もサポートされるように、ご助力・ご協力頂きますよう、関係者様にお願い申し上げます。

サポートブックによって、子ども・保護者・支援者の全てに対して、理解と支援の手が差し伸べられるよう願っています。